



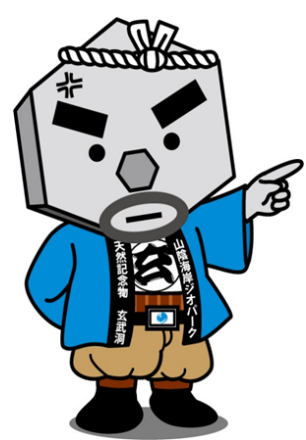
空飛ぶクルマとは？

現在、世界中で空飛ぶクルマの実現に向けた検討が進んでいます。空飛ぶクルマは様々な地域の課題を解決するとともに、どこにいても豊かな暮らしが実現できるよう、人々に新しい移動の形を提供することが期待されています。



イラスト出所：経済産業省ウェブサイトより

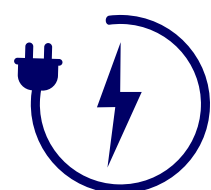
- 電動化や自動化といった航空技術、垂直離着陸等の運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です
- クルマのように人々の生活に欠かせない存在となることを目指して「空飛ぶクルマ」と呼ばれています



空飛ぶクルマの特徴

特徴

メリット



電動

低騒音、脱炭素、低コスト



垂直離着陸

滑走路が不要



自動化(将来) より安全、低コスト



イラスト出所：経済産業省ウェブサイトより



空飛ぶクルマのユースケース

ヒト・モノの移動やエンタメ利用など、様々なシーンでの活用が期待されています

ヒトの移動手段

空港アクセス

地域内での移動

地域間での移動

遊覧飛行

観光地アクセス

離島/山間地アクセス

医療従事者の移動

患者の移動

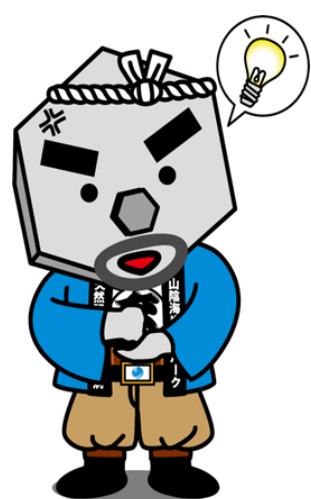
災害時の人員輸送

モノの輸送手段

災害時の物資輸送

荷物輸送

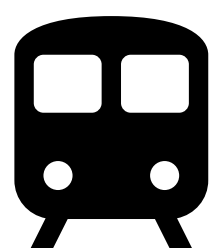
施設間物流



豊岡で空飛ぶクルマが使えたら・・・

移動手段

所用時間 豊岡-神戸



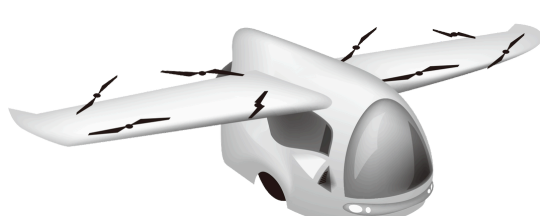
鉄道

180分



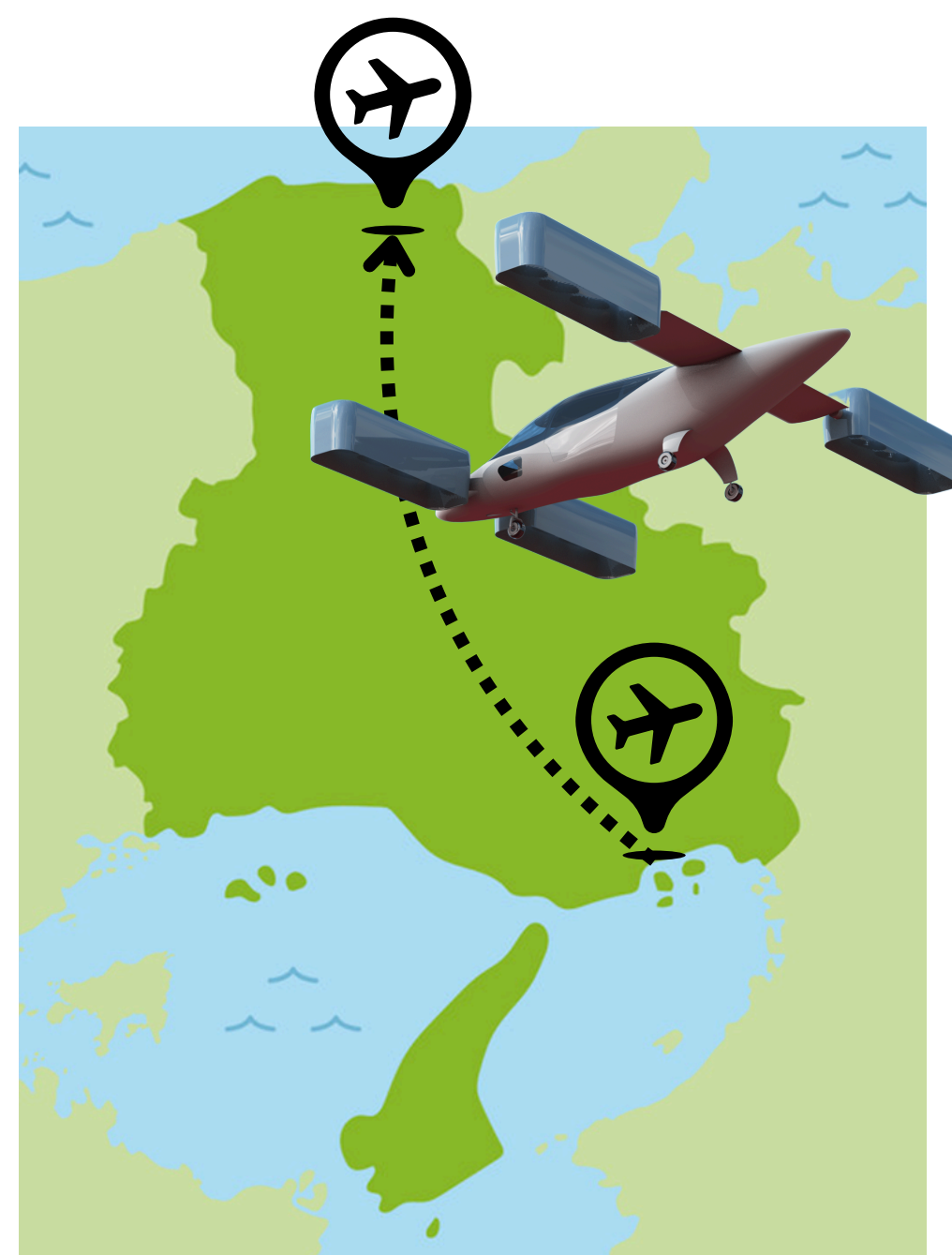
自動車

120分



空飛ぶクルマ

35分

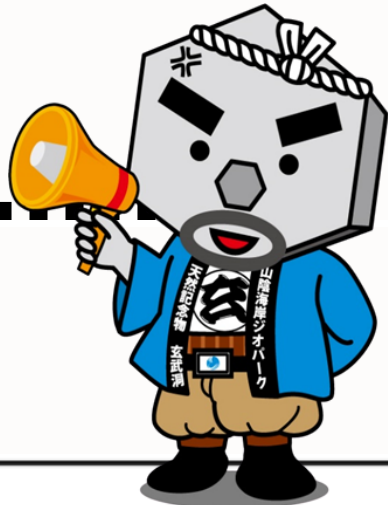


注) 空飛ぶクルマが時速200kmで飛行する前提

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト

城崎地域では、2023年度から城崎のまちづくり構想を踏まえた「空飛ぶクルマ」の活用に関して、地域・事業者・自治体が一緒になって勉強会やワークショップなどの取組みを行ってきました。

この取組みを強化し、豊岡市全体へ展開するために、事業者・各団体の参画を得て「コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会」を2025年9月25日に設立しました。



ビジョン

目的	豊岡をより「訪れたいくなる」、「住みつづけたくなる」、「働きたいくなる」憧れのまちに
目標	1.城崎温泉が観光地として更に高付加価値化されている 2.子どもたちや若者の「チャレンジ精神」が育まれるまちとして認知されている 3.豊岡全体に取り組みが広がり、住む人、働く人の暮らしに役立っている
時間軸	<div><div>事業化決定</div><div>運航開始</div><div>利用拡大</div></div> <div><div>2025-2026</div><div>2027-2029</div><div>2030-2034</div><div>2030年代後半</div></div> <div><div>事業検討</div><div>実証実験</div><div>合意形成</div></div> <div><div>2030年までの実装が目標</div></div> <div><div>事業準備</div><div>実装フェーズ1 (城崎：観光利用が中心)</div><div>実装フェーズ2 (豊岡：市民の利用が広がる)</div></div> <div><div>注) 期間限定の先行事業を検討</div><div>注) 空飛ぶクルマの開発状況、関係者の合意形成の進捗により変更の可能性有</div></div>

事業計画

- 空飛ぶクルマ関連事業者による、豊岡・城崎温泉エリアでの事業検討・推進状況の把握、課題などに対する対策協議
- 豊岡・城崎温泉エリアの価値向上に向けた運航路線先(地域)との連携
- 国・県等の支援獲得に向けた、陳情・ロビー活動
- 市内外に向けた本プロジェクトの取組み内容の発信による機運醸成
- 地域企業・団体などとの事業連携の検討・企画
- 本協議会の目的や取組み内容に賛同する会員の拡大

